



▲子どもや家庭が抱えている課題を当事者や支援者の視点から学ぶため連続講座を開催。①相馬契太さん(訪問と居場所漂流教室)、工藤慶一さん(北海道に夜間中学をつくる会共同代表)、12月15日、エルフラザ ②深堀麻菜香さん(大学生)、松島周子さん(子育て中の女性)、佐々木一さん(札幌市子どもの権利条例市民会議代表)、2013年1月11日、かでる2:7
孝之さん(札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長)、1月11日、かでる2:7

「こんな札幌に暮らしたい」
2018年度予算要望を秋元市長に提出



中・長期的な財政見通し、
介護や配食サービスの充
実、保育施設の増設など、
活者の視点での政策にて、
予算を希望を生活クラブ、
運動グループの仲間とともに
に市長に手渡しました。
(11月24日、市長室)

香料(香り)に苦しむ市民への理解を



香料の成分である化学物質の危険性や身を守る対処法を学ぶため、岡田幹治さん(ジャーナリスト)を講師に学習会を開催しました。委員会は気道を刺激する物質が多く、神經毒性、発がん性等を持つものがあり、国や自治体による実態把握や規制等が急務です。

札幌市議会を傍聴しよう！

■2018年第1回定例市議会 2月20日～3月29日

- 代表質問 2月28日(水)15時頃(予定)、石川さわ子が行
問い合わせ：札幌市議会 市民ネットワーク北海道事務
TEL 011-219-0112
 - * 本会議の他、予算特別委員会はインターネット中継も
行われています。
 - 市民ネットワークは、議員を特権化せず、市民の声を直
接議会に届ける「代理人」と位置づけています。市民が
政治の主体として積極的に参画していく仕組みをつくろう
と代理人運動を実践しています。



札幌市議會議員

石川さわ子の活動リポート

「札幌市子どもの権利条例」が活かされた 子どもの貧困対策計画を

札幌市は2008年に子どもの権利条例を策定しました。「安心して生きる」「自分らしく生きる」「豊かに育つ」「参加する」など、子どもが健やかに成長するために欠かせない基本的な権利を保障しており、おとなはその権利保障に努める義務があるとしています。しかし、子どもの7人に1人が「貧困」の状態にあり、札幌市は、2017年度中に子どもの貧困対策計画の策定をめざしています。市が実施した子ども・若者生活実態調査の結果では、「相談窓口を知らない」「お金がなくて子どもを病院に受診させられなかった」と回答した保護者の割合は、課税世帯よりも非課税世帯の方が高く、経済状況が進学にも影響していることが明らかになりました。

子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないように、義務教育経費の無償化や相談体制の充実等を貧困対策計画に盛り込むことが不可欠です。子どもの権利が守られ、すべての子どもが安心して暮らすことができる札幌とするため、実効性のある子どもの貧困対策計画にしていきましょう。

川崎市の人権施策を視察 12月26日 **差別や人権侵害のない札幌市を**



◆雪まつり会場でのヘイトスピーチ、朝鮮学校の子どもへの差別発言など、札幌市において人権侵害により心を痛めている人がいます。川崎市では人権施策推進基本計画を策定するとともに、ヘイトスピーチ解消に向け積極的に取り組んでいます。(川崎市ふれあい館、右から2人目が館長の崔江以子さん)

憲法9条を守り、活かそう！



子どもたちに戦争のない平和で安心して暮らせる社会を手渡すため「安保法制」の撤廃、また、憲法改悪を阻止し憲法9条を守ろうとアーリル。(毎月19日、三越前

さわ子のホッと一息

北区内の教会でのクリスマスコンサートに参加させていただきました。教会と言えば讃美歌ですが、その日はなんと津軽三味線！

繊細かつ力強い演奏は、私を含めて聴いている人たちの心をスッポリ包み込みました。国内外で活躍されている演奏者の新田昌弘さんは札幌ご出身とのこと。札幌出身の若い方が地球規模で活躍されていることに感激し、様々なチャレンジを応援する札幌であるよう、私も頑張ろうと思いました。

